

# 学習院女子大学 教育方針

## (ディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシー)

学習院女子大学は、国境・民族・文化を越え、人類の平和と文化の発展を希求し、地球の視野から人類が歩んできた過去及び進むべき未来を研究教授し、その深奥を極めるとともに、社会と手を携えつつ、人格の陶冶と情操の涵養を図り、時代を先導する女子の創造的リーダーを育成することを目的としています。

上記の目的と社会的使命を達成するために、国際文化交流学部を設置しています。本学部は、関連諸学問に対する高い識見を有するとともに、豊かな教養と地球的視野を身につけ、文化の交流と相互理解を通じて国際社会に貢献できる人材の育成を図っています。

本学は、上記の教育理念にのっとり、国際文化交流学部には日本文化学科、国際コミュニケーション学科、英語コミュニケーション学科を置き、以下のディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシーを定めています。

### 日本文化学科

#### 【ディプロマ・ポリシー（学位授与方針）】

本学学則に定める期間在学し、所定の教育課程を履修して、以下に示す能・力を身につけ、卒業に必要な単位を修得した者に「学士（日本文化）」の学位を授与します。

#### [知識・理解]

1. 日本文化の伝統や特質に関する広範な知識とすぐれた見識をそなえている。
2. 日本の歴史、文化、言語に関する学識を次世代に継承していくことができる。

#### [汎用的技能]

3. 学術上、社会生活上の問題の発見・分析・解決に必要な思考力・判断力・表現力を身につけている。
4. 日本文化を諸外国・諸地域に向けて的確に発信できる語学力を身につけている。
5. 現代社会において必要とされる情報コミュニケーションの技能を修得している。

#### [態度・志向性]

6. 多様な文化と相互理解を図ることができる広い視野をもっている。
7. 国際社会で活躍できる教養と品格をそなえている。
8. 諸文化の価値を認め、適切な敬意を払うことができる。

#### 【カリキュラム・ポリシー（教育課程の編成実施方針）】

日本文化学科では、教育目標の柱である「日本について知ること」を実現するために、「芸術・思想」「民俗・歴史」「現代社会」「比較文化」の4つのフィールドを総合的、かつ専門的に学習して、日本文化の伝統や特質を踏まえた十分な理解が得られるように専門科目群を体系的に編成しています。

1年次には、大学4年間の学習の動機付け、初年次の基礎能力の育成、問題発見・解決能力、自分の考えを伝える表現力を養うことを目的に、基礎演習科目、日本文化基礎科目を開講し、初年次教育の充実を図っています。さらに、1・2年次には、専門科目群や初年次教育の科目群の学習過程で習得した知識を世界に向けて的確に発信する国際的なコミュニケーション能力を培い、異文化理解を深めるために、英語（外国語科目1群）と他の言語（同2群）、情報処理、日本語表現法、国際文化交流論、人間関係論、自然環境論、スポーツ・健康科学、海外研修など、様々な分野の科目を共通科目群として体系